年間授業計画 新様式 **八王子東高等学校** 

令和6年度(1学年用) 教科 国語 科目 現代の国語

教 科: 国語 現代の国語 単位数: 2 単位 科 目:

対象学年組:第 1 学年

教科担当者: (1組:間杉 2組:間杉 3組:奥井 4組:奥井 5組:間杉 6組:奥井 7組:藤野 8組:藤野)

使用教科書: ( 筑摩書房 現代の国語

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにるす

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその 能力の向上を図る態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

の目標: 科目 0

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	調理的に考えるカヤ深く共感したり量かに窓塚したり りする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分 の用いか表えなけばなり深めなりオスニトができるとうにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わるうとする態度を養う。

	出	元の具体的な指導目	堙	指導項目		領域	ì		評価規準		知	思	態	配当	当時数	数
	-	元の共体的な指導占	1	・内容 	話・	書	読		<b>正</b> Ш		М	心	,EX	話・言	書	売
	A 単元 文献購読入			〇指導事項				A 単元 文献購読入	門					$\equiv$	Т	ヿ
	知識・技能 要約や文献購読という、実社会に必要な知識や技能を身に付ける。	思考力等 随筆という種類を踏ま え、内容や構成につい て、叙述を基に的確に 捉えること。	を活用し、関連分野	<ul><li>要約 ・文献検索</li><li>〇教材 「〈私〉時代のデモクラシー」</li></ul>			0	知識・技能 出典を示す際に 必要な情報を理 解している。	思考力等 教材の要旨や表 現の特徴を適切 に読み取ること ができている。	学びに向かう力 ある問題について 主体的に課題を設 定し、関連する資 料を探そうとしてい る。	0	0	0			4
				※1人1台端末活用					<u> </u>					_	_	_
1 学	B 単元 論文読解入 知識・技能 論文読解の基礎や言語学に関する基礎的な知識を身につける。	門・近代とは何か 思考力等 具体例の効果などの表現や構成を的確に捉え、要旨を把握できる。	学びに向かう力 近代について理解しよう とし、その知識を表現や 理解に活かそうととして いる。	<ul><li>○指導事項 ・近代とは何か</li><li>○教材 「来るべき民主主義」</li><li>※1人1台端末活用</li></ul>			0	B単元 論文読解入 知識・技能 言語学の基本的 な考え方を理解 している。	門・近代とは何か 思考力等 要旨や表現の特 徴を適切に読み 取れている。	学びに向かう力 近代について関心 をもって理解しよう としている。	0	0	0		4	ł
期	定期考査										0	0			1	
	<ul> <li>C 単元 論文執筆入</li> <li>知識・技能</li> <li>論文読解や言語学に</li> <li>関する基礎的知識を</li> <li>身につける。</li> </ul> 定期考査	門・科学的なものの見 思考力等 標準的な構成で自分の 考えを論理的に論述で きる。	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読	<ul><li>○指導事項         <ul><li>・科学的なものの見方</li><li>○教材         <ul><li>「サイエンスの視点、アートの視点」</li><li>「システムと変異」</li></ul></li></ul></li></ul>		0		C 単元 論文執筆入 知識・技能 身体論・近代論 の基本を理解し ている。	門・科学的なものの! 思考力等 考えを論理的に 論述することが できる。	見方 学びに向かう力 考えが伝わるよう エ夫して論述しよう としている	0	0	0		9	
	正朔与国 D 単元 口頭発表 :	其礎		○指導事項				D 単元 口頭発表	基礎						1	
	知識・技能 ロ頭発表の基礎的な 方法を理解する	思考力等表現や構成を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。		・口頭発表の基本的な方法	0			知識・技能 発表方法の基礎 を理解してい る。	思考力等 構成や表現に工 夫して発表でき る。	学びに向かう力 考えが伝わるよう エ夫して発表しよう としている	0	0	0	4		
	E 単元 論文読解・	文化論		〇指導事項	$\top$			E 単元 論文読解・	文化論	1					$\neg$	ヿ
2	知識・技能 論文読解や科学論・ 社会論に関する基礎 的な知識を身につけ る。	思考力等 表現や構成を的確に捉 え、要旨や要点を把握 することができる	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読み、理解しようとしている。	・文化・コロニアリズム 〇 <b>教材</b> 「贈り物と商品の違い」 「開かれた文化」		0		知識・技能 科学論・社会論 の基本を理解し ている。	思考力等 要旨や表現の特 徴を適切に読み 取れている。	学びに向かう力 筆者の主張や意見 を読み、理解しよう としている。	0	0	0		8	
学期	F 単元 文学作品に 知識・技能 文学研究に関する基 礎的な知識を身に着 ける。	関する論文執筆 思考力等 思考力等 表現や構成に工夫をして文学作品についての 考えを論理的に書ける		<ul><li>○指導事項 ・文学研究の基礎用語</li><li>○教材 「羅生門」※言語文化で既習 ※ピプリオバトルの準備</li></ul>		0		F単元 文学作品に 知識・技能 文学研究に関す る基礎知識を理 解している	関する論文執筆 思考力等 自分の考えを論 理的に論述する ことができる。	学びに向かう力 既習の知識を生か して書こうとしてい る。					3	
	定期考査	12 m - 211 - 21 - 22 - 22 - 22	14.	<b>○化港市</b> 校				C 当二 弘立建紀。	Hn-11171.41	* 14t-	0	0			1	4
	知識・技能 論文読解や科学論・ 社会論に関する基礎 的な知識を身につけ る。	え、要旨や要点を把握 することができる	学びに向かう力 筆者の主張や意見を読	「名付けと所有」 「リスクと近代社会」			0	知識・技能 社会論、とくに 民主主義の基本 を理解してい る。	グローバリズム・多利 思考力等 思考力等 要旨や表現の特徴を適切に読み取れている。	学びに向かう力 筆者の主張や意見 を読み、理解しよう としている。			0			9
	H 単元 文体を意識 知識・技能 文学研究に関する基 礎的な知識を身に着 ける。	して書く 思考力等 表現や構成に工夫をして文学作品についてのの考えを論理的に書ける		<ul> <li>○指導事項         <ul> <li>・「話し言葉」と「書き言葉」の違い</li> </ul> </li> <li>○教材         <ul> <li>「ことばとは何か」</li> <li>「ことばがつくる女と男」</li> </ul> </li> </ul>		0		H 単元 文体を意識 知識・技能 文学研究に関す る基礎知識を理 解している	して書く 思考力等 自分の考えを論 理的に論述する ことができる。	学びに向かう力 既習の知識を生か して文学論を書こう としている。	-	0			2	
	定期考査	<u> </u>	·						·	<u> </u>	0	0			1	
	単元 論文読解・			〇指導事項				I 単元 論文読解・							П	
	知識・技能 論文読解に関する基 礎的な知識を身につ ける。	思考力等 表現や構成を的確に捉 え、要旨や要点を把握 して文章を比較するこ とができる	を考えながら、要旨につ				0	知識・技能 論文読解に関す る基礎的な知識 を身につける。	思考力等 要旨や要点を把 握して文章を比 較することがで きる	学びに向かう力 関連する具体例を 考えながら、要旨 を理解しようとして いる。	0	0	0	9		
3 学期	J 単元 小論文執筆 知識・技能 論文を書く際の基本 的な表現や構成を身 に着ける	詩歌 思考力等 表現や構成に工夫をして自分の考えを論理的 に書ける		<ul><li>○指導事項         <ul><li>詩の作品論執筆</li><li>○教材         <ul><li>詩歌</li></ul></li></ul></li></ul>		0		J 単元 小論文執筆 知識・技能 論文を書く際の 基本的な表現や 構成を身に着け る	詩歌 思考力等 1000字程度で自 分の考えを論理 的に書き表すこ とができる	学びに向かう力 表現や構成に工夫 をして自分の考え を論述しようとして いる	0	0	0	13	4 合計 26	17
															56	

年間授業計画 新様式例

## 八王子東高等学校 令和6年度(1学年用) 教科

科目 **国語 科 |** 単位数: 2 単位 教 科: 国語 科 目: 言語文化

対象学年組:第 1 学年

教科担当者: ( 1組:間杉 2組∶間杉 3組:奥井 4組:奥井 5組:間杉 6組:奥井 7組:藤野 8組:藤野 )

使用教科書: ( 筑摩書房 言語文化

の目標:

【知 識 及 び 技 能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにるす

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす 【思考力、判断力、表現力等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

国語

科目言語文化 の目標: 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】 

【学びに向かう力、人間性等】

言語文化

	単	<b>並元の具体的な指導目</b>	標	指導項目 ・内容	領地		読	<u> </u>	評価規準		知	思	態		当時劉	読
					書	読	近代						$\perp$	書	読	近代
	A 単元 古文入門(		1 Marson 1	〇指導事項 				A 単元 古文入門(		1 336 - 183 - 14- 3 T - 14-						
	知識・技能 歴史的仮名遣い、用 言の活用について学 ぶ	思考力等 活用形に留意しながら 古文の内容を的確に読 むことができる	学びに向かう力 背景に関心や親しみ をもって学習に取り 組むことができる	・歴史的仮名遣い・品詞・用言の活用 〇 <b>敬材</b> 「児のそら寝」「かぐや姫の誕生」 「絵仏師良秀」と近代小説「地獄変」 との比較 ※1人1台端末活用		0		知識・技能 歴史的な仮名遣いを正しく読める 用言の活用を理解している	思考力等 文章の種類を踏まえ成などにないでいる	学びに向かう力 教材の内容に関心 と親しみを持ち、学 習に見通しをもって 取り組んでいる。		0	0		8	
	定期考査								•		0	0			1	
		訓読の基礎・再読文字		○指導事項					訓読の基礎・再読文字							
1	知識・技能 漢文訓読のきまりに	思考力等 漢文訓読のきまりにし	学びに向かう力 漢文の背景に関心や親	・漢文訓読のきまり・再読文字		0		知識・技能 訓読のきまりを	思考力等内容や構成、展	学びに向かう力 関心を持ち、見通し		0			4	
学期	ついて学ぶ	たがって内容を的確に 読むことができる	しみをもって学習に取り 組むことができる	「借虎威」「漁夫之利」 「探究基礎」のA発表と関連させる		Ŭ		理解している	開を的確に捉え ている	をもって取り組んで いる。	Ŭ	Ŭ				
		読解(用言の活用・助		○指導事項 ・ 田舎の近田 ・田舎河 ら和藤の甘港加強				C 単元 説話・物語 知識・技能	読解(用言の活用・助 思考力等							
	知識・技能 用言の活用し、助動	思考力等 活用形などの古文のき	学びに向かう力 背景に関心や親しみを	<ul><li>・用言の活用、助動詞や和歌の基礎知識</li><li>〇教材</li></ul>		0		カ蔵・技能 用言の活用や助	内容や構成、展	学びに向かう力 関心を持ち、見通し		0			5	
	詞、和歌の基礎知識について学ぶ	まりをふまえて内容を的確に読むことができる	もって学習に取り組むこ	「大江山」「東下り」「羅城門の上層 に登りて死人を見し盗人の語」等				動詞や和歌の基 礎知識について 理解している	開を的確に捉えている	をもって取り組んでいる。						
	D 単元 文学用語の			〇指導事項				D 単元 文学用語の						П	П	
	知識・技能 文学研究の基礎用語	思考力等表現や構成を的確に捉	学びに向かう力 文学的観点に関心を持	・文学研究用語 基礎				知識・技能 基礎的な文学用	思考力等 内容や構成、展	学びに向かう力 関心を持ち、見通し						Ш
	を理解する	表現や構成を的離に促 え、要旨や要点を把握 することができる。	大子的観点に関心を持 ち、見通しをもって取り 組んでいる。	「羅生門」 ※古典と近代小説の比較分析			0	番錠的なメチ用 語を理解してい る。	開を的確に捉え ている	関心を持ち、見通し をもって取り組んで いる。		U				4
	定期考査										0	0			1	
	E 単元 文学用語の			〇指導事項				E 単元 文学用語の		I W						
	知識・技能 文学研究の観点をい	思考力等表現や構成に工夫をし	学びに向かう力 文学的観点に関心を持	・文学研究用語 基礎 ・文学研究発表の構成			0	知識・技能 基礎的な文学用	思考力等 文学主題を論理	学びに向かう力 関心を持ち、見通し	0	$\overline{}$				3
	かして主題を論じる 方法を学ぶ	表現で構成に工犬をして考えを書き表すこと ができる		* 又子研究完表の構成 ** 「羅生門」の小論文に向けての準備 ** 「			U	番錠的なメチ用 語を理解してい る。	大子主題を調理 的に著述できる	関心を持ち、見通し をもって取り組んで いる。		U				3
	F 単元 日記文学(	助動詞)	,	〇指導事項	İ			F 単元 日記文学(	助動詞)	•			寸	П	$\neg$	_
	知識・技能 助動詞の基礎的な知 識を身につける。	思考力等 要旨や要点を把握する ことができる	学びに向かう力 内容に関心を持って取 り組んでいる。	・助動詞・和歌の解釈・日記文学  〇教材  三大和歌集、「門出」「北叟が馬」		0		知識・技能 助動詞の基本を 理解している。	思考力等 内容を適切に読 み取れる	学びに向かう力 関心を持って取り 組んでいる。	0	0	0		5	
	G 単元 故事成語(	基礎的な句法)	•	〇指導事項				G 単元 故事成語(	基礎的な句法)	•	П		T	$\neg$	$\dashv$	$\neg$
2 学期	知識・技能 句法の基礎的知識を 理解する	思考力等 表現や構成を的確に捉 え、要旨や要点を把握 することができる		<ul><li>・基本的な句法</li><li>〇教材</li><li>「塞翁馬」</li></ul>		0		知識・技能 句法の基礎的知 識を理解してい	思考力等 表現や構成を捉 え、要旨を把握 できる	学びに向かう力 関心を持ち、見通し をもって取り組んで いる。		0	0		4	
791			v ··•••	※古文教材「北叟が馬」との比較				_		U-0°			$\perp$			
	H 単元 小説読解基			〇指導事項   ************************************				H 単元 小説読解基		1 24×101×14.2.2.4						
	知識・技能 文学研究に関する基 礎的な知識を身に着 ける	思考力等 表現や構成から心情変 化を的確に把握できる		・文学研究の基礎用語 <b>〇教材</b> 「羅生門」 ※夏期課題を踏まえてグループ活動			0	知識・技能 文学研究に関す る基礎を理解し ている	思考力等 心情変化を的確 に把握できる	学びに向かう力 見通しをもって取り 組んでいる。	0	0	0			3
	定期考査										0	0			1	
	Ⅰ 単元 説話(助動	詞)		O指導事項 助動詞の基礎から識別へ				I 単元 説話(助動	詞)				Т	П	Т	
	知識・技能 助動詞の基礎を身に 着ける	思考力等 的確に内容を読解できる	学びに向かう力 関心をもって取り組んで いる	<b>○教材</b>		0		知識・技能 助動詞の基礎を 身に着ける	思考力等 的確に内容を読 める	学びに向かう力 関心をもって取り組 んでいる	0	0	0		4	
	J単元 史伝を読む	(句法)	!	<b>〇指導事項</b> 漢文句法				J単元 史伝を読む	(句法)	1	Н		+	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	〇教材		0		知識・技能	思考力等	学びに向かう力	$ _{\cap}$	0			4	
	句法の基礎を学ぶ	適切な内容読解	関心をもった学習	「刺客荊軻」				句法の基礎を理 解する	適切に内容を読 解している	関心をもって取り組 んでいる		0			4	
1	J単元 小説読解と	文体		<b>〇指導事項</b> 小説読解				J単元 小説読解と			П		$\top$	$\neg$	$\neg$	$\exists$
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	O教材				知識・技能	思考力等	学びに向かう力		_				
	文学研究の基礎知識 を身に着ける	文学作品についての考 えを論理的に書ける	近代に関する知識を生かして文学論を書く。	小説「夢十夜」   			0	文学研究の基礎 を理解している	考えを論理的に 論述することが できる。	近代に関する知識 を生かして論述し ている	0	0				5
	定期考査			W S I IV. Tables O C / 1 N.VI							0	0			1	
	K 単元 歴史物語(			〇指導事項				K 単元 歴史物語(					T			٦
	知識・技能 敬語の基礎を学ぶ	思考力等 表現や構成を的確に捉 え、要旨を読み取る	学びに向かう力 関心と見通しをもって学 習する	・敬語の基礎・識別・軍記物の読解 〇教材「木曽の最後」		0		知識・技能 敬語の基礎知識 を理解する	思考力等 要旨や要点を把 握できる	学びに向かう力 関心をもって取り組 んでいる	0	0	0		6	
3	L 単元 (韻文の表	」 長現と修辞法)	1	〇指導事項				L 単元 (韻文の表	- 長現と修辞法)	1	Н		+	_		$\dashv$
学	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	思想・韻文・小説読解				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	]		L	5		
期	漢詩のきまり、論語 を学ぶ 現代詩の分析を学ぶ	表現や構成から要旨を読み取る	関心と見通しをもって学習する	<ul><li>○教材</li><li>・漢文 思想「論語」「老子」</li><li>・漢文 近体詩</li><li>・現代文 小説「城の崎にて」、詩</li></ul>	0			漢詩のきまりや 論語の内容を学 ぶ 現代詩の分析法 を理解する	要旨や要点を把握できる	関心をもって取り組んでいる	1 :	0		5		15
				※読書レポート、詩の作品論									L		64	

## 八王子東高等学校 令和6年度(2学年用)

教科 国語 科目 古典探究

単位数: 教 科: 国語 科目:古典探究 3 単位

対象学年組:第 2 学年 1~8組

教科担当者: (1組:酒井 2組:島田 3組:島田 4組:小野寺 5組:手塚 6組:酒井 7組:島田 8組:手塚

使用教科書: (東京書籍 古典探究 古文編・漢文編 教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす 【思考力、判断力、表現力等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 古典探究	の目標:		
ľ	知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	文化に対する理解を深めることができ		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親 しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深 め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	H	単元の具体的な指導目		指導項目	領	域			評価規準		知	思態		当時	数読
		+76V75 (PH1)-610-45 (D	17K	• 内容	書	読			ат іш 796—		AH .	LN 10	書	読	
	<u> </u>	(説話)・歌物語		  ○指導事項	+		_	A 単元 和歌入門(	脱話)・歌物語			+	H		11
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	・和歌の修辞 敬語				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1				
	和歌の修辞について理		背景に関心や親しみを	1				和歌の修辞につい	和歌独特の表現に	教材の内容に関心	1				
	解する	して本文を読み味わう	もって学習に取り組む ことができる			0		て理解している。	留意して内容を捉 え、本文を読み味			0 0		8	
				「能は歌詠み」					わえている	取り組んでいる。					
				「初冠」											
	B 単元 漢文小話			※1人1台端末活用 〇指導事項	_		<u> </u>	n W - **+1**			H	_	$\vdash$		_
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	· 抑揚形願望形受身形				B 単元 漢文小話 知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1				
	抑揚形・願望形・受身		背景に関心や親しみを	〇教材		0		抑揚形・願望形・	展開の面白さを味	関心を持ち、見通し		00		4	
1	形の句法を理解する	わいながら, 漢文の読	もって学習に取り組むこ	「先従隗始」「不死之薬」「完璧而帰」		_		受身形を理解して	わうことができる		ľ				
学		み方を確認する。	とができる					いる		いる。					
期	定期考査										0	O .		1	
	C 単元 随筆			〇指導事項				C 単元 随筆							
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	・随筆を読む 機知を楽しむ				知識・技能	思考力等	学びに向かう力					
	随筆で使われた表現技 法を理解する	作者の用いた表現の工 夫を読み味わう	構成や内容について考 えをまとめようとしてい	(分数材) (北野の電源はよる味みと)		0		訓読のきまりを理 解している		構成や内容につい て考えをまとめよう	0	0		4	
	J-2-2377 W	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	る。	徒然草「化野の露消ゆる時なく」 「花は盛りに」				7, - 1	5	としている。					
	D 単元 史記			〇指導事項	_			D 単元 史記			1		$\vdash$		_
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	史記を読む				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1				
	必要な文語や訓読のき	作品の示す見方, 感じ	構成や内容について考	〇教材		0		文語や訓読のきま	作品の示す見方,	構成や内容につい	0	0 0			4
	まりを理解する。	方,考え方を読み取 る。	えをまとめようとしている。	「史記」				りを理解する。	感じ方,考え方を 読み取る。	て考えをまとめよう としている。					
		,90°	<b>3</b> 0				<u> </u>		がでたれなる。	20 00.00					_
	定期考査			O.W.T.				n w = n = // =	- W)		0	) <u> </u>	Щ.	1	
	E 単元 日記(女房		一 労がた ウル き 十	○指導事項 蜻蛉日記「なげきつつ一人寝る夜」				E 単元 日記(女房 知識・技能	思考力等	学びに向かう力					
	知識・技能 必要な文語や訓読のき	思考力等 作品の示す見方, 感じ	学びに向かう力 構成や内容について考	対却自己・なりとララ 八枝の状]		0			作品の示す見方。	構成や内容につい		00			4
	まりを理解する。	方,考え方を読み取	えをまとめようとしてい			10		りを理解する。	感じ方、考え方を	て考えをまとめよう	·				4
		る。	る。						読み取る。	としている。					
	F 単元 日記文学(	(女房文学)		○指導事項				F 単元 日記文学(	女房文学)						_
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	・敬語・女房文学				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	] [				
	敬意の方向をつかむ 後宮という文化背景を	文章種類を踏まえて, 構成や展開などを捉え	内容に関心を持って取り 組んでいる。			0		敬意を適切に読み 取ることができる	構成や展開などを		0	0 0		6	
_	つかむ	3	MITO CO. O.	枕草子「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」				W. D. C.	3	140,000					
2	G 単元 古詩			源氏物語「光源氏の誕生」	-		-	G 単元 古詩			H	+	$\vdash$		_
期		思考力等	学びに向かう力	〇指導事項				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1				
	語句の意味や韻文のき	表現や構成を的確に捉	内容に関心を持ち、見	古詩				語句の意味や韻文	作品の示すものの	関心を持ち、見通し	1			,	
	まりを理解する	え、情景や心情を把握 できる	通しをもって取り組んで いる。	〇教材		0		のきまりを理解する	見方を通して考え を広げることがで	をもって取り組んで		0		4	
		(60)	U '0'	「行行重行行」「硯鼠」				3	きる	L'.3°					
	also the also also			「野田黄雀行」「飲酒」			<u> </u>						ш		_
	定期考査 I 単元 物語			○ <b>指導事項</b> 物語				I 単元 物語			0:0	)		1	_
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	〇教材				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1				
	文語のきまりについて	文章種類を踏まえ、特有	関心をもって取り組んで	源氏物語		0		適切に読み取るこ	的確に内容を読み	関心をもって取り組	0	20		4	
	理解を深めること	表現に留意して内容をと らえる	いる	「若紫」				とができる	とれる	んでいる	ľ			-	
		3,00		「天徳内裏歌合」											
	」単元 道家の思想			<b>○指導事項</b> 漢文小話				J単元 道家の思想							
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	O教材 				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1 1				
	句法のきまりや語彙に 留意しながら、全体の		内容に関心を持ち、見 通しをもって取り組んで	世説新語「少時了了」			0	句法の決まりや語 量に留音しかがら	作品を通して考え を広げることがで	関心を持ち、見通し をもって取り組んで	0	o o			5
	概要を捉える	する	いる。	太平広記「夜行逢鬼」				全体の概要を捉え	きる	いる。					
								る							
	定期考査	<u> </u>	<b>'</b>								0	O .		1	
	K 単元 歴史物語(	(敬語基礎)		〇指導事項 為政者たち				K 単元 歴史物語(	敬語基礎)			Т			_
	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	〇教材				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	]				
	文語のきまりについて 理解を深めること	文章種類を踏まえ、特 有表現に留意して内容	関心と見通しをもって学	大鏡「雲林院の菩提講」 「道真の左遷」「鶯宿梅」		0		文語のきまりにつ いて理解を深める	文章種類を踏ま	関心をもって取り組んでいる	0	00		6	
	生からはなるので	有衣先に留息して内容 をとらえる	E 7.0	「花山天皇の出家」		-		こと	意して内容をとら	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
3									える						
学			1	○指導事項	-			L 単元 (漢詩・新	<b>i</b> 語)	I	H	+	$\vdash$		_
期	知識・技能	思考力等	学びに向かう力	・まとまった文章を読む				知識・技能	思考力等	学びに向かう力	1		5		
	句法のきまりについて	作品を通して自分の考	内容に関心を持ち、見	〇教材				句法のきまりや思	作品を通して考え	関心をもって取り組				合計	_
	理解を深める	えを広げたり深めたり する	通しをもって取り組んでいる。	楚辞「漁夫辞」	0			想について理解を 深める	を広げることがで きる	んでいる	0	0 0	_	36	13
		7 %	vv o	陶淵明集「五柳先生伝」				N. W. W.	C 'a)		ΙÍ			58	_
				古文真宝集「春夜宴桃李園序」											

## 年間授業計画 新様式例

八王子東高等学校 令和6年度 (2学年用) 教科 国語 科目 国語探究

単位数: 2 単位 教 科: 国語 科 目: 国語探究

対象学年組:第 2 学年 1~8組

教科担当者: (1組:手塚 2組:手塚 3組:小野寺 4組:手塚 5組:石黒 6組:小野寺 7組:石黒 8組:小野寺)

使用教科書: ( 筑摩書房 論理国語 明治書院 文学国語

教科 国語 の目標:

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり 深めたりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 国語探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが	多様な文章を読み味わい、論理的批判的に考えるカや、深く共感 したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わり		
	の中で伝え合う力を高めることができるようにする。	の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会	
		に関わろうとする態度を養う。	

	<u></u>	<b>望元の具体的な指導目</b>	堙	指導項目	ŕ	湏域			評価規準		知	思	態	配当	時数	
	-	- 九の共体的な指导日	1亦	・内容	話・聞	書記	売		<b>开</b> Ш		м	心		器. 重	書読	
	A 単元 推論入門(			〇指導事項			I	A 単元 推論入門(							$\top$	٦
	知識・技能 情報を重要度や抽象度 などによって整理する 方法について理解を深 め使うことができる。		学びに向かう力 解釈や推論について理 解しようとしている	・解釈 (演繹・推測) ・心情描写の少ない文学作品読解  〇教材 ・「数字化される世界」 ・複数の資料に基づく論理的文章 (『新しい第3の現代文』第1回)			٦ŀ	知識・技能 推論と主観的な解 釈について理解し ている	思考力等 文章の種類を踏ま えて内容や構成を 的確にとらえるこ とができる	の魅力について自	0	0	0		4	
	B 単元 文学作品読 知識・技能 客観的な状況説明と人 物の心情の関係につい て理解する	思考力等 客観的な描写を根拠に	学びに向かう力 登場人物の心情や心情 描写を配した作品構成 の効果を理解しようとし ている	<ul><li>○指導事項 ・ 文学作品読解 ○教材</li><li>・大学入試問題から小説問題</li></ul>		C	- - - - - -	B単元 文学作品読 知識・技能 客観描写と主観的 表現を区別して理 解できる	思考力等 表現の特色に着目	学びに向かう力 表現の特色につい て粘り強く理解しよ うとしている	0	0	0		4	
1	定期考查										0	0			1	4
学期	知識・技能 近代以降のグローバリ	門・近代論 思考力等 多角的に考えを見直して、主張を明確にできている。	学びに向かう力 多様な視点から問題を 捉え、言語化しようとし ている	<ul> <li>○指導事項</li> <li>物語る方法を知る</li> <li>○教材         <ul> <li>「はじめての沖縄」</li> <li>「小説とは何か」</li> </ul> </li> <li>○指導事項</li> </ul>		0	1		思考力等 効果的な構成や展	学びに向かう力 考えが伝わるよう 工夫して論述しよう としている	0	0	0		5	
	知識・技能 戦争文学を通じ、国家 と個人、歴史の関係を 考える		学びに向かう力 戦争と文学との関係に ついて捉え、言語化しよ うとしている	戦争文学 <b>〇教材</b> 夏課題 林京子「空き缶」 大岡昇平「野火」				知識・技能 詩の特徴や表現効 果を理解している	思考力等 詩の特徴や効果を 読み取ることがで きる		0	0	0		4	
	定期考査										0	0			1	
	E 単元 語りを記録		24 - 10 1 - 4 1 - 4 1	の指導事項			-	E 単元 語りを記録		<b>光マリッカム</b> こも						
	知識・技能 情報を整理する方法に ついて理解を深める	文章に活かす方法を考 える	学びに向かう力 言葉によるものの見方、 感じ方、考え方を深めよ うとしている。	語りの書き起こし  ○教材  「沖縄戦を聞く」  戦争文学 「野火」など		0		述できている	思考力等 語りの特性に留意 して書いている	学びに向かう力 粘り強く取り組み、 考え方を深めてい る	0	0	0		3	
2 学期		思考力等 論点を明確にしながら	学びに向かう力 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識 を深めようとしている	○指導事項 ・時代や文化の差異の描写を読む ○教材 「異時代人の目」 「日本の社会は農業社会か」 「ファンタジーワールド」			기	F 単元 異時代異文 知識・技能 論点や視点を示す 言葉の働きを理解 している	思考力等 文化・時代ごとの 視点を適切に読み	学びに向かう力 時代や文化で異な るものの見方を読 み取ろうとしていうr	0	0	0		8	
	G 単元 日本の近代			〇指導事項	П			G 単元 日本の近代								٦.
	知識・技能 日本の近代化の特徴を 理解する	思考力等 既存の関係を相対化す るために視点を反転さ せる思考のあり方を学 ぶ。	学びに向かう力 積極的に言葉によるも のの見方を深めようとし ている	<ul><li>日本の近代論</li><li>〇教材</li><li>「現代日本の開化」</li><li>「学問のすゝめ」</li><li>「私の個人主義」</li></ul>				知識・技能 日本の近代化の特 徴を理解している	思考力等 要旨や表現の特徴 を適切に読み取れ ている。	学びに向かう力 社会論とくに民主 主義について関心 をもって理解しよう としている。	-		0		4	
	H 単元 文学作品に			〇指導事項			I	H 単元 文学作品に								7
	知識・技能 文学研究に関する基礎的な知識を身に着ける。	思考力等表現や構成に工夫をして文学作品についてのの考えを論理的に書ける	学びに向かう力 既習の近代に関する知 識を生かして文学論を 書こうとしている。	・文学研究の基礎用語 〇教材 「こころ」「舞姫」		0	- 1		思考力等 自分の考えを論理 的に論述すること ができる。		_	0			6	
	定期考査										0	0			1	
	単元 小論文執筆 知識・技能 近代資本主義とその後の課題について理解する	思考力等 表現や構成に工夫をし		<ul><li>○指導事項 ・ ○教材 「貨幣共同体」 「貧困は自己責任なのか」</li></ul>		0	-	I 単元 小論文執筆 知識・技能 文章の構成方法を 理解している		学びに向かう力 構成を工夫して粘 り強く自分の考え をまとめようとして いる	0	0	0		6	
3 学期	効果的な段落の構造や 論の形式など、文章の		学びに向かう力 学習の見通しをもって言 葉がもつ価値への認識 を深めようとしている。	<ul><li>○指導事項     ・小論文執筆     〇教材     「権力とは」</li></ul>		C	-		思考力等 多面的・多角的な 視点から評価する ことができている		0	0	0	0 2	5 介計 20 25 介計 45	_

年間授業計画 新様式例

八王子東高等学校 令和6年度(3学年用) 国語 教科 科目

教 科: 国語 論理国語 単位数: 3 単位 科 目:

対象学年組:第 3 学年

教科担当者: 1組 小野寺 2組 門 3組 酒井 4組 酒井 5組 石黒 6組 門 7組 間杉 8組 小野寺

使用教科書: ( 筑摩書房 論理国語

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

論理国語

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 論理国語

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目	俞	域	評価規準	知	思	態	配	当時数
	年ルの兵体的な指導口係	・内容	話・日間	書諺		м	101	122	話・:	書読
	A 単元 社会論	□ ○指導事項 ・ 論理的な表現上の工夫	[20]		A 単元 社会論 知識・技能 思考力等 学びに向かうカ				(M)	
	文章の効果的な組み 立て方や構成について 乗現の仕方について、 多面的・多角的な視点 から評価する	「思考の誕生」		C	文章の論理構成や 論理構成や表現方 展開について理解 している はたについて、多角 える」ことについて ありに評価している。 る。 とはついて、多角 からに評価している。 ものに評価している。 ものよえをま とめるために、粘 り強く考えて工夫 している	0	0	0		5
1 学期	B 単元 経済論         思考力等           知識・技能         思考力等           経済論の基礎知識を理解する。 文章の種類を踏まえて、論理の展開などをは自分の言葉で説明し、文章の組み立て方や構成に少え、論点を明成について理解を深め確にしながら要盲を把握する           成について理解を深めて理解を深めて理解を深める	<ul> <li>※1人1台端末活用</li> <li>〇指導事項</li> <li>・文章構成の組み立て方</li> <li>・貨幣経済の概論理解</li> <li>〇数材</li> <li>「貨幣共同体」</li> </ul>		C	B 単元 経済論 知識・技能 思考力等 学びに向かう力 文章の論理構成や 文章の展開や構成 通貨の危機につい 展開について理解 とあわせて要旨を て調べたことや考	0	0	0		5
	定期考査					0	0			1
	C 単元 現代論         現職・技能         思考力等         学びに向かう力           文章の組み立て方、接 続の仕方について理解 する         批判的な読者を想定し て表現や構成を工夫す る         本文について自分の えをまとめようとす。 態度を養う		(	Э	日末 現代論     知識・技能     文章構成・接続に 批判を想定しなが 考えが伝わるようついて理解を深め    古まける     まける     まける     まける     まける     まける     まける     まける	0	0	0		9
	定期考査					0	0			1
	D 単元         経済論【発展】           知識・技能         思考力等           抽象的な文章を通し         文章を承体な論点や異して、語意を増やし語感なる価値観と結び付けて自分の考えを深めるである。           で豊かにする         なる価値観と結び付けて自分の考えを深めるで表します。			C	D 単元 経済論【発展】  知識・技能	0	0	0		6
2	E 単元 観念的文章の読解	「記憶の満天」		C	E 単元 観念的文章の説解 知識・技能 思考力等 論証や探究に必要 関連する文章を読 な語句の量を豊かみ、自分の考えを 広げたり深めたり する	0	0	0		5
学期	定期考査	0.15.95.75				0	0			1
	F 単元 現代社会論         場合           知識・技能         思考力等           段落や論の形式など、論拠を批判的に検討 文章の構成や展開の仕し、文章や資料の妥当 方について理解を深め とでは極的に深めようでも態度を養う 内容を解釈する         言葉によるものの見を積極的に深めようでも態度を養う	<ul><li>○指導事項 ・現代社会論 ・ 抽象的表現と具体例の関連づけ ○教材 「戦争と平和についての観察」</li></ul>		C	F 単元 現代社会論 知識・技能 樹成や展開の特徴 と効果について理解している。 思考力等 学びに向かう力 常成や展開の特徴 と効果について理解している。 常性や信頼などを吟味しなが ら解釈している のようと学習を調整しようとしている。			0		5
	6 単元 入試問題演習         単考力等         学びに向かう力           知識・技能         思考力等         学びに向かう力           大学入試問題を解くに         大学入試で求められる         計画的に学習に取りる           足る語句や文章読解に         記述力・読解力を高める         み、言葉を通して思を広げようとする態/を養う	<ul><li>入試問顯過去問</li></ul>		0	6 単元 入試問題演習 思考力等 学びに向かう力 大学入試問題を解 大学入試で求めら くに足る面的や文 章説解に関する理 解を深める 力を高める 学習を調整しよう としている			0		6
_	定期考査  H 単元 入試問題演習	〇指導事項			11 M = 1 35HH##25FW	0	0			1
3 学期	知識・技能 思考力等 学びに向かう力 大学入試問題を解くに 大学入試で求められる 計画的に学習に取り 足る語句や文章読解に 記述力・読解力を高め み、言葉を通して思	・ 日 ・ ・ 入試問願過去問		0	日 単元 入欽問題復習 知識・技能 思考力等 学びに向かう力 大学入議問題を解 大学入試で求めら 計画的に国語科のくに足る語句や文 れる記述力・読解 学習に取り組み、章誌解に関する理 力を高める 解を深める				0	2 合計 15 28 合計 47